

特別支援学級 生活科学習指導案

日時 平成17年2月24日(木) 5校時

場所 花巻市立宮野目小学校 虹色学級

指導者 虹色学級担任 関口 明子

総合教育センター情報教育室 工藤 恭介

1 単元名 手ぬぐいをしめる

2 単元の目標

手ぬぐいで頭をおおって、後ろでしめることができる。

3 単元について

この教材は、手ぬぐいで頭をおおい、後ろでしめることを目標としている。宮野目小学校では清掃時に、2年生以上の児童は頭を手ぬぐいでおおうことになっている。本児は3年生である。まだひとりでは後ろ手でしめることができない。手を添えて手伝ったり、教えたりしている。ひとりでするのが難しいので、覚えようとしなくて人に頼ろうとすることが多い。そのためこのコンテンツを見て、ひとりでやり方を覚え、ひとりで手ぬぐいを頭にしめることができると、学校生活に役に立つとともに自信にもつながると思う。

4 教育用コンテンツの活用について

本単元で活用する教育用コンテンツは、授業者や教育センター-特別支援室の意見をもとにして開発した特別支援用コンテンツである。下記のように、トップ画面から特別支援のページへとリンクし、簡単なクリック操作でコンテンツを見ることができる。

本授業の教育用コンテンツの活用の視点としては、次の2点があげられる。

児童が見やすい画面構成で、簡単なクリック操作で、繰り返し何度も見られる

解説入りのコンテンツも活用することで、活動への意欲化が図られ、興味関心が高まる。

これらの視点を踏まえながら、本時の目標が達成できるよう支援していく。(T2 工藤)

【トップ画面】



【特別支援のメニュー - 画面】



【結ぶ(しめる)活動のメニュー - 】

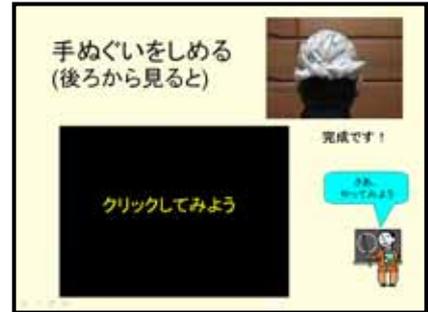
【本時で活用するコンテンツ】



「手ぬぐいをしめる」動画



解説入り動画



パワ - ポイントのスライド

なお、本時では、主にパワ - ポイントに静止画や動画を貼り付けたスライドを活用する。

5 本時の指導

(1) 目標

コンテンツを見てひとりで頭おおいの手ぬぐいをしめようとする気持ちをもって練習に取り組む。
コンピューターを使ってコンテンツを繰り返し見ることができる。

(2) 展開

段階	学習活動の流れ	T1 指導上の留意点	T2	備考
導入 7分	1 本時のねらいをつかむ。 コンテンツを見て頭おおいの方法を知り、練習をする。 2 動画『手ぬぐいをしめる』をみる。	・ねらいを確認し、手ぬぐいを準備させる。		・動画コンテンツ 
展開 30分	3 手ぬぐいで頭おおいをする。 4 動画を見る。 5 手ぬぐいで頭覆いを何回も練習する。	・一緒にする。 ・手助けしながら一緒にやったり、見守ったりする。	・動画を見せ、イメージ化を図る。 ・動画を見せる。Mができるように教える。 ・動画を見る手助けをする。	・1、2回やったら動画を見る。  ・動画を見て手ぬぐいをしめることを繰り返す。 ・時間になったら終わる。
終末 8分	6 手ぬぐいが前よりうまくしめることができたか評価する。 7 コンピューターを使ったことの感想を言う。	・よかったことを評価する。	・よかったことを評価する。	・工藤先生と感謝の握手する。